

2013 年度動物看護師統一認定試験（CBT 方式・マークシート方式）

試験結果

【受験者数】

CBT 方式 295 人

マークシート方式 161 人

※CBT 方式及びマークシート方式：同一の一般及び実地問題を使用

【平均点】

CBT 方式 84.8 点（140 点満点、補正後）

マークシート方式 76.8 点（140 点満点、補正後）

【合格者数】

CBT 方式 165 人

マークシート方式 49 人

【合格率】

CBT 方式 55.9%

マークシート方式 30.4%

—合格発表に際して—

3月23日（日）、全国9会場で動物看護師統一認定機構主催のCBT方式及びマークシート方式試験を実施いたしました。（2月14日から降り続いた）大雪により、2月16日（日）の試験を受けられなかった受験者に対して、特別に代替試験（CBT方式・マークシート方式）を行いました。

合格ラインは、前回（2月16日実施）と同様に、正解率60%（140点満点の84点）です。すなわち、84点（満点140点、補正後）以上を「合格」にいたしました。

今回の問題は、昨年行った7回の試験において、60～90%の正答率の問題をすべて抽出し、正答率の低い問題は易しく、正答率の高い問題はやや難しく修正して、70～80%の正答率を期待したものです。これはCBTにおける常套の方法でもあります。さらに新たな問題を加え、複数の識者によって校正されたものです。したがって、動物看護師に必要な問題構成になっています。しかし、残念ながら、正答率が著しく低い問題が数題ありました。やむなく、3題の問題を前回と同様に全員正解といたしました。具体的には、「鳥類の孵化日数」、「ペットフード安全法」、及び「眼科検査」に関する3題です。

いずれも、動物看護師の職域を考えたとき、必要かつ重要な問題ですが、「移行期間」の特別な対応として実施いたしました。

昨年のマークシート方式・CBT方式試験を合わせた合格率81.2%より、著しく低くなりました。また、前回（2月16日実施）の72.2%よりもかなり低くなっています。動物看護師統一認定機構は「出題範囲」を公表しています。教科書は未だ発刊されていませんが、「出題範囲」を網羅した参考書はいくつか出版されています。今回の新しい問題の多くはそうした参考書から出題されています。是非、参考にしてください。

試験運営小委員会座長（副機構長）
太田光明（麻布大学獣医学部教授）